

川崎市で昨年1月、障害者の就労支援を手掛ける株式会社「ダンウェイ」が発足した。社長の高橋陽子(38)は2児の母。発達障害のある小学生の長男の将来を思い、安定した大手企業を辞めて自ら障害者支援のビジネスに飛び込んだ。

創業2年目の今年6月、ダンウェイは「かわさき起業家オーディション」で大賞などを総なめにした。8月上旬にはインドで開かれた起業家コンペに招待され、アジア12カ国24チームと事業モデルを競った。入選は逃したが「大きな励みになった」と笑顔で話す。

同社がこれほど注目されるのは知的障害者が力を合わせてホームページ(HP)を制作する独自ソフトを開発したため。短い文章の入力や写真の貼り付けなど各

ダンウェイ社長

高橋 陽子さん

ホップ  
ステップ



## サイト制作で障害者活躍

たかはし・よこし 1973年神奈川県茅ヶ崎市生まれ。技術者派遣のベンチャー「セーフネット(現VSN)」などを経て、2010年ダンウェイ保険労務士事務所を開設。11年ダンウェイ設立。

と技術援助を取り付けた。

インターネットで閲覧できるダンウェイのHPは同社で就労訓練を受けている障害者らが手作りで仕上げた。一般のサイトと遜色なく、外部からの制作依頼も

自が対応できる分野で作業をこなし、パーツをつなげて全体をまとめる。専門用語を使わず、画面に表示する動物などのアイコンや色使い(青は進む、赤は戻る)で作業を指示する。

型請負作業だけでなく、成長性の大きい市場で障害者の自立を手助けした。ちにもHPが作れるソフト」として年内に一般販売も始める計画だ。

転機は長男が4歳のころ。病院で発達障害と診断された。技術者派遣の大手

封筒貼りや梱包など従来

で総務畑を歩み、障害者雇用の子会社の設立にもかかわった高橋だが、しばらくは途方に暮れたという。

しかし子会社で明るく働く障害者に勇気づけられ、「訓練は乗り越えられる者にしか訪れない」という周囲の言葉にも励まされて、人生を見つめ直した。

障害者雇用などに携わる社会保険労務士の資格を取った高橋は2010年春に事務所を開いた。その後、仕事やボランティア活動で知り合った元教師らとダンウェイを設立。ソフト開発の傍ら、同社で就労訓練を受けた6人を正規雇用として企業に送り込んだ。

社名はドイツ語のダンケシエン(感謝する)に由来する。一步一歩上る段、チームの団、交流の談などの意味も込めた。 敬称略

# 神奈川